

差出人: "Ogawa Katsunori" <ogawa-k@town.noto.lg.jp>
日時: 2009年10月22日 14:30
宛先: <ecopoli@city.itabashi.tokyo.jp>
CC: "板橋区ホタル飼育施設 殿" <hotaru@ita.ed.jp>
添付: エコポリスプロジェクト資料(ver.3).pdf
件名: 【能登町】板橋区殿と能登町の環境問題に関する協定について

板橋区エコポリスセンター 岩倉所長殿
(Cc.板橋区ホタル飼育施設 阿部施設長殿)

お世話になっております。
先だってよりご相談させていただいております、板橋区殿との
協定締結の件です。

先般お電話にてお話させていただいたときに、岩倉所長殿より
以下のご意見をいただいております。

- 1) 国産クロマルハナバチに関する業務が本協定の根本であることから、
クロマルハナバチに関する業務協定としてはどうでしょうか。
- 2) 互いの小中学生交流を行うなど環境教育の一環を盛り込んだ
内容で協定することについては、事業実施にあたり予算がともなう。
財源確保が厳しい中で、はたして実現できるのだろうか。
- 3) 板橋区と能登町の間で歴史も浅く、歴史があるとすればクロマル
ハナバチについて。その他環境に関する歴史が浅い中で、はたして
環境に対する業務提携と広く扱うことはいかがなものか。

そこで、再度私どもの方でも検討いたしました。

能登町では、町総合計画に基づき環境に対する事業に取り組んでおります。
それらを横断的にまとめ、「地球にやさしい能登町エコプロジェクト（仮称）」
としました。

このなかで、板橋区殿とクロマルハナバチ飼育生産に関する業務をきっかけに
互いに環境問題に対する取り組みについて協力し合うことを目的に、協定を
締結することではいかがなものでしょうか。

ご指摘のとおり予算を伴うものもあるかと思えます。しかし、子孫にこの地球
環境を引き継ぐための投資としてご検討いただけませんか。また、すべてを
すぐに実現できないこともやむをえないことかと思えます。協定をもとに、
できることから少しずつという考え方ではいかがなものでしょうか。

詳細については、添付をご参照ください。

石川県能登町

ふるさと振興課 企画振興係長 小川勝則

石川県鳳珠郡能登町宇出津新1-197-1

TEL : 0768-62-8532